

(八) 新設組合一件

名 称	事務所	創 立	會 員 数	維持方法	其 他
名古屋港 学館後巷 口夏組台	名古屋市南區 五島田神戶町 六十一番地	大正十一年 六月 廿八日	會員數 及被教 養物解級 後進士者 二八〇名	月會費大正十一年 本組名は名古屋 船會聯合會に 加入し之を 維持するに 努力す	船會一致に 協力し之を 維持す 主幹長 太郎

二 労働団体ト多ク 議

(一) 川崎造船所等議後報

川崎造船所本分二工場三隻造船廠内施設各會社手議ヲ機トシ神戶労働組合聯合會主催大示威運動舉行、計劃ナリトシ七月十四日午
前八時ヨリ同場セリ其ノ概況左ノ如シ

本廠ヨリ一會社各地ハ會社トシテ朝未川崎三隻ノ各工場職工ハ各
自任其主眼ヲ在田中各組合ニ會社ヲ失頭トシ続々參集シ定刻ニ迄
數二万ニ達シ同八時半行進ヲ開始セリ

先ツ友愛會幹部先頭部隊トナリ久留山ニハ総指揮者ニ登川由志多
ハ參謀長トナリ加古隊、重正會川崎造船所(造船廠、新築部)三
隻造船所(内池造船、造船部)トシテ印刷工組合、沖ノ島聯合會

ノ順ニ行キ前、中、後各部ニ部隊トシテ通過スルニ相成リテ序ヲ保持セリ
右側ヲ通過後隊ハ左側ヲ行進シ押シテタル數百ノ旗幟ニリ各團體名々「死戰
まで」「死す迄戦へ」「興廢は共ニ其ノニあり」「サナノ極限ヲ試見シ

絶不喊聲ヲ揚ゲテ労働歌ヲ高唱スルニ相成リテ相成リテ序ヲ保持セリ
是亞前隊ハ川崎造船所ニ到リタルハ同九時迄ナルハ後部ハ尚二十餘分
ヲ隔リタル會社トシテ蛇形長蛇ノ如シ而シテ同所ヲ引返シ三隻及

造船所、川崎兵庫分工場ヲ經テ兵庫回台監臨ニ到リタル由三ノ機